第3号

うみとみらい通信

2026年9月1日発行

九十九里沖の地下調査で何が分かる？

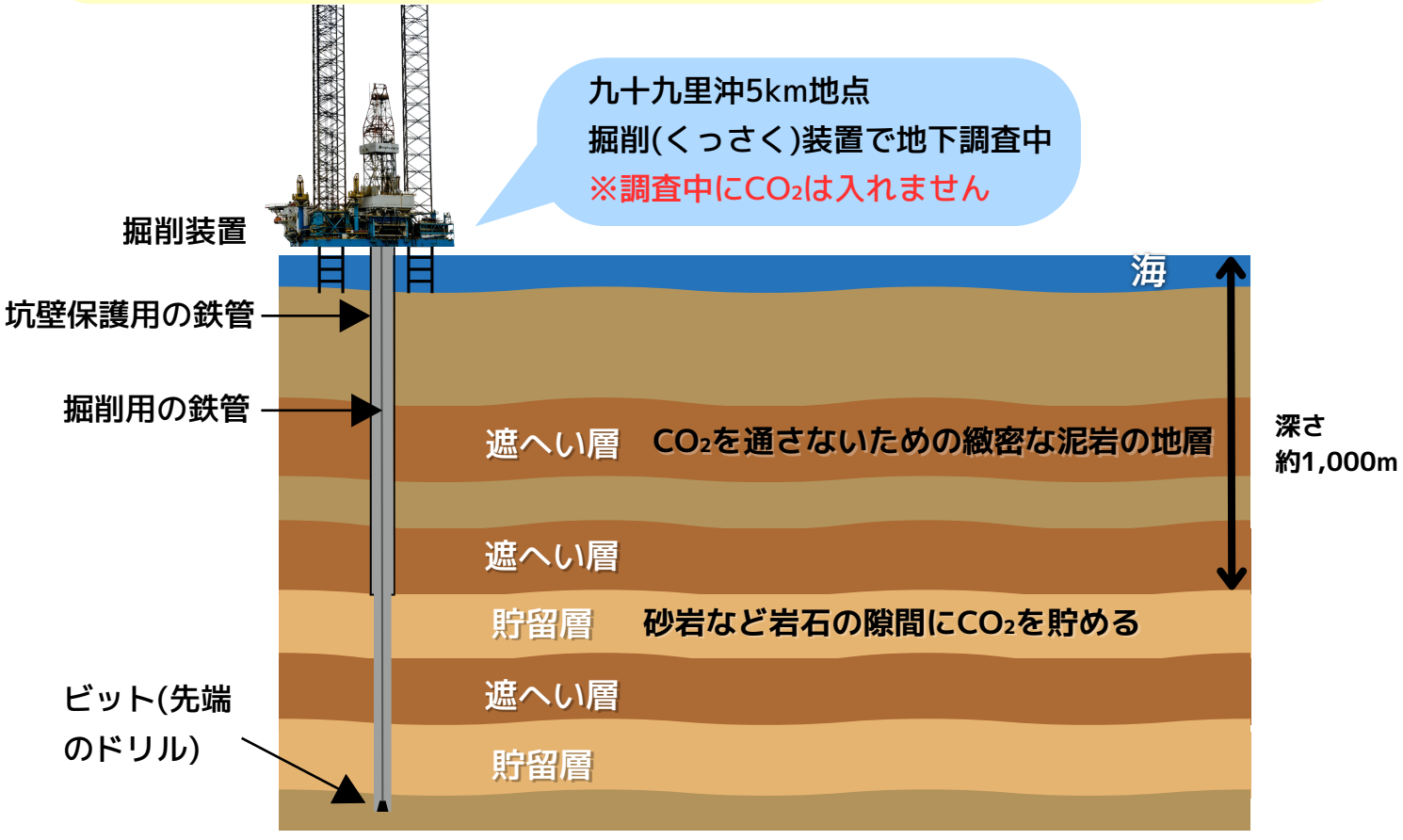
首都圏CCS株式会社

うみとみらい通信について

私たちは、九十九里沖でCCS「二酸化炭素（CO_2）を地下に閉じ込める技術」が安全に実施できるかを確認するための調査を進めています。この通信では、調査の内容や進み具合、安全への取り組みについて分かりやすくお伝えしていきます。

今月のトピックス

CCS(CO_2地下貯留)に適した地層か確かめるため
九十九里沖 約5km地点で地下調査をしています



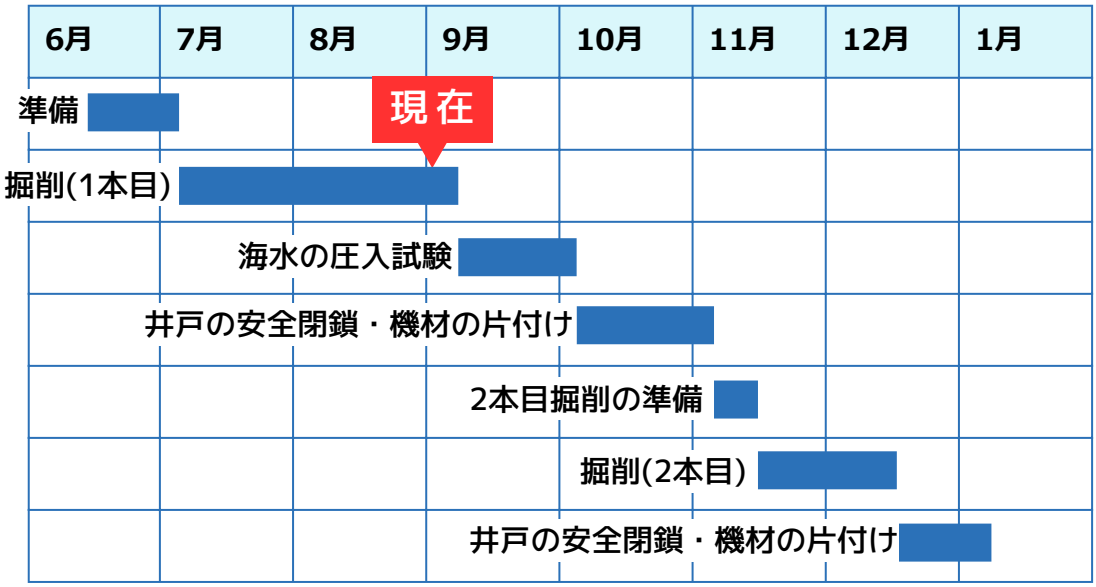
地下調査で何が分かる？

CO_2を地下に安全に長期間閉じ込めるためには、「貯留層」と「遮へい層」の存在が重要です。九十九里沖では、これまでの水溶性天然ガスの開発・生産で得られたデータから【CO_2の貯留に適した地層】がある可能性が高いと考えられています。

今回の地下調査では、海底に調査用の井戸を掘り、岩石や地層のデータを取得します。

これにより、CO_2を安全に貯留できる地層が実際にあるかどうかを確認できます。

✓現在は１本目の地下調査段階です。調査段階でのCO_2の地下貯留は行いません。
✓調査中に発生したゴミは、船で鹿島港へ輸送し産業廃棄物として処理し、海洋投棄はしません。



Q.なぜ九十九里沖なのか？

これまでのデータから、国内有数の【CO_2貯留に適した地層】がある可能性が高いと考えられるからです。

Q.掘削装置だけで調査できるの？

資材を運ぶ船と作業員を運ぶヘリコプターが必要です。ヘリコプターは土日を除き毎日3便が運航中です。

Q. 調査終了後、調査用井戸はどうなる？

井戸は完全に閉鎖し、漁業に影響がでないようにします。
作業用の掘削装置も完全撤収します。

地域の皆さまへ

調査の状況や安全への取り組みは、今後も「うみとみらい通信」やコミュニケーションセンター「うみとみらい」(〒283-0102 千葉県山武郡九十九里町小関2347-98地先)を通じてお伝えしていきます。

「うみとみらい」には、スタッフが常駐しております。ご不明な点やご心配なことがありましたら、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

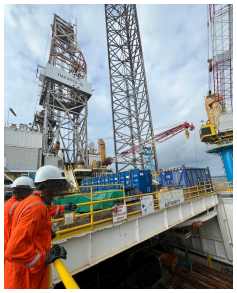
営業時間：
10時～16時
休館日：火曜日、
水曜日、年末年始

＼場所はこちら／

今月の豆知識

Q.「掘削装置」で働く作業員は、どのくらい海上に滞在するの？

A. 作業員は2～4週間ほど掘削装置に滞在し、１日2交代で作業を行います。
そのため、装置内には宿泊設備が整っています。



発行：首都圏CCS株式会社 社会共生ユニット
千葉県千葉市中央区問屋町1-35
お問い合わせ：043-375-6531
https://mccs.inpex.co.jp/contact/form.php

＼お問合わせフォーム／